NIE実践報告

1．タイトル：NIEを取り入れた授業(メディア・リテラシー育成を目指す授業)

2．学校名

千葉県立松戸国際高等学校

3．実践者名（代表者名）

倉松　靖英

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会(国際関係)　3講座60人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞各社の比較検討から「8月15日」の意味を考える

7．目標（狙い）

複数の新聞を読み比べる事で多数のメディアが形成する情報に対しての真贋や根拠、社会的背景などを批判的に読み取ることができる能力(メディア・リテラシー)の育成である。

8．評価の視点

(1)各班でうまく話し合いができたか(2)各新聞社による紙面の違いが理解できたか(3)新聞作成を通じて情報の真贋を意識することができるようになったか(4)他者の意見を尊重することができたか(5)自らの意見をプレゼンで表現することができた

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「メディア・リテラシー教育」(1)各新聞社の紙面の比較検討(グループ作業:3時間)　(2)新聞作成(グループ作業:6時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞作成(6時間)の注意事項
1.各班で新聞作成の以下の項目を編集会議で話し合う。
(a)どういう新聞にするか(題名、内容)。
(b)紙面を構成する材料記事の選択。
(c)記事の調査、執筆についての割り振り。
(d)その記事が適切かどうかの判断。
2.紙面作成に関する条件は以下のとおり。
(a)班員全員で協力して行うこと(後で、振り返りシートで作業率を調査)
(b)紙面はA3プリント(両面)
(c)構成記事の中には必ず「見だし」「社説」「国際記事」を入れなければならない。また、「社説」には共通のテーマを与え、各班の新聞の「色」を強調させる。
(d)記事は必ず指定された日の新聞から取り上げ、再調査し、自らが構成した文章にすること。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒の感想「自分たちで新聞を作成することは大変で難しかったが、社会人になっていく過程として考えるととてもよい授業だと思いました。また、様々なことを調べていくうちにメディアリテラシーが自然に身についてくるように思いました。」

12．成果と課題

新聞を取り入れた授業を始めて今年で2年目になる。今年度は初めてNIE実践校の指定を受けて実施した。そして、生徒と共にとても有意義な授業を実践する事ができたと思う。また、実践を終えた後の生徒の意見は様々であったが、特に「先生、難しかった。でも楽しかったよ」という意見を聞いた時が、最もこの授業をやってよかったと思える瞬間であった(難しいからこそ「考える」のである)。ここまで辿り着いた生徒たちに感謝したい。